

曠古の御盛儀に先立ちて鋪装工事の竣工を見十月六日壇切長官は鋪装工事關係者一同を招致して竣工祝賀會の席を

設けられ心からの祝賀をなす。宮内省よりは本工事に對し特に御下賜金を給ふの光榮に浴するを得たり。（完）

道 路 の 鋪 裝 (四)

東京市技師 草野源八郎

瀝青鋪装の施工

a、混合機（Asphalt plants）

瀝青の混合機にはいろいろの種類があつて、會社々々に依つて澤山の製品がある。それが良い悪いとは一概に言へないが、日本に来て居るものは皆な運搬に便利のやうに出來て居る。混合機の大きさは仕事に依つては決定しなければならない、東京、大阪といふやうな大都市に於ては出來だけしかりした混合機を据付けた方が宜い、施工上混合機の構造は大抵どんな種類のものでも同じやうな原

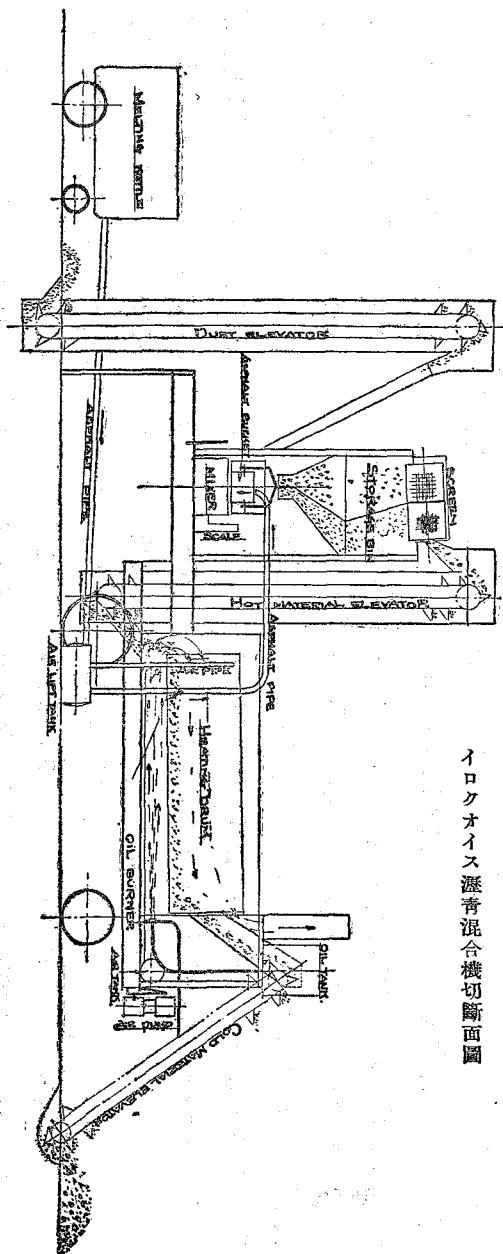
非常に便利であり、すべての點で節約が出来るから、成べく大きいものを買入れた方が得だと思ふ。併し仕事の少い小さい所では、成べく小さい混合機で間に合せないと、非常に工費が高いものになる。要するに仕事の分量に應じて混合機の大きさを決定することが最も必要である。一年中絶間なく使つて居れば混合機も安いものだけれども、僅かの路線の工事の爲めに非常に高價な混合機を買入れることは考へ物である。

出来だけしかりした混合機を据付けた方が宜い、施工上

理で、殆んど大同小異であるから、それが良この幅なので
ないが、茲に示したのは今東京で使つて居るイロクオイス

(砂、碎石等を混ぜたもの) を置いて、それを Cold material elevator ピベケットに擱ら上めて、Heating drum の
中に入れる。下の方から Oil burner ピンク～熱～ヒート

イロクオイス瀝青混合機切面図



瀝青混合機である。これで一日に一五〇面坪ぐらゐの瀝青
混凝土が出来る。

構造の大體を説明するに、最初右の方にアグリゲート、
即ち Screen 即ち篩があつて、大抵仕様書に依つて二通の
温度は Hot material elevator に持ち上げる。やがてなんぞ茲

110度なり140度の温度に熱する。其の熱したものを作成
する。

篩を用ひて、砂利と砂とを別々に篩ひわけるやうになつて居る、それで篩ひわけられたものは別々に其の下の方にあつて砂がいくら、砂利がいくら入つたか、重りを一々測つて Mixer の中に送る。瀝青は最初圖の左の方に見える Melting kettle で燃かされ、Asphalt pipe に依つて Mixer の上の Asphalt bucket に送られる、やゝて四方を側つて Mixer の中へ入れて、此處で混合して下へ落す、其下に自動車が来て居つて、車へ運び、車になら Dust elepater には石粉を運んで Storage-Bin に送る。

大體の構造は斯ういふものである。
東京市で実施した統計に依るに、一バッヂが八〇〇封度で、それを五回やむ一千度一噸(四、〇〇〇封度)自動車一臺分になる。此の四、〇〇〇封度の混合物は、トピカ混合では四、七面坪の鋪装が出来て居る、シート・アスファルトになる六、七坪、バインダーでは六、五坪ぐらゐ出来る。

今東京市で使つて居る混合機は、ワーレンのか、ヘザリントンのの、今のイロクオイス、それからカンマーのの三台ある。其の中現に働いて居るのは二台で、芝浦の混合所ではイロクオイスを使つて居る。カンマーの方は洲崎の混合所に在り。此の兩機を使用して四〇〇面坪ぐらゐ一日に混合が出来る。

b. 輪壓機 (Roller)

瀝青舗装に用ひる輪壓機はタンデム・ローラー (Tandem Roller) で、五噸、八噸、十噸、十二噸なるのがあるが、就中五噸と八噸が最も多く用ひられる。輪壓をする時には最初先づ軽い方でやつて、後から重いのを用ひる順序になつて居る。輪壓のやり方で路面に波形が附くと言はれて居るので、出來れば一方面だけではなく縦横十文字にロールすれば宜いけれども、今の日本の道路は狭くて一方向だけしか動かすことが出来ない、何しろ交通事故が多いので、輒壓も思ふやうにやれない状態である。

瀝青は夏になるに殊にアタマして居るから、あよつい

した重量でも凹んで波形が附くことがある。例へば午前中に鋪装した所に八噸ローラーを其の儘止めて置くと、ローラーの型が附いてその爲に波形が出来るやうな事があるから、よほお注意を要する。

ローラーは出来るだけ早くかけた方が宜い。尤も鋪設したばかりで温度の非常に高い所に冷い水をかけてローラーを通過する、瀝青混泥土は表面に龜裂が入ることがあるから暫く冷ますやうにしてやつて居るが、成べく早い方が宜いシート・アスファルトの方は絶対にさういふ虞はないが、瀝青混泥土は注意を要する。故に水を使用する代りに、ローラーの表面に重油・軽油・牛々に混ぜたものを塗つて行くと非常に宜い。あまり澤山つけると路面が損むが、極く僅かの程度に塗つて行くと仕事が非常に楽である。

市街道の輻壓には、スチーム・ローラーはさうも向かない。石炭を焚いて煤煙が出るので、火災の危険があると言はれるし、水を得るのに貰ふ所がない。市中でも金を先に拂はない水を呉れない、一昨年非常に困つた事がある。

其の點からもギヤソリン、ローラーを使ひたかつたけれども、ギヤソリン、ローラーも云ふと皆二汽筒で振動が非常に多くて工合が悪い。其の後亞米利加では四汽筒のものが出来、最近では六汽筒のものを造つて居るやうである。先日 Acme Road Machinery 11噸ローラーの四汽筒のものを試みたが、非常に工合が良い。水の心配もなく煤煙もなく、頗る成績が良かつた。ギヤソリンローラーで振動さへ防げたら、其の方が軽便で安全で時間の上に於ても非常に得である。市街鋪装に用ひて最良のものと思ふ。

c、運搬自動車(Truck)

瀝青混合材の運搬に使ふ自動車は、Dump body といつて、底を持ち上げて落す装置のものが宜しい。

一般に自動車で運搬しても、函の内面に軽油か何かをよく塗つて置かないこ、瀝青が附着して困る事がある。

d、施工の季節

瀝青施工の好季は、私の考へでは日本に於ては四月から

十月までが一等好い季節だと思ふ。寒い時にやるご燃料が損で仕事がうまく出来ない、から困る事ばかりである。一番安全なのは夏の暑い時が宜い、瀝青はよく伸びるし、燃料は少くて仕事がきれいに出来る。そんな仕事でも自由にやれる。

e、修 繕

瀝青は修繕が實に容易で、唯だ表面をきれいに掃除して瀝氣のないやうにして置いて、其の上に瀝青の熔けたのを塗り其の上にシートアスファルトを規定通り施行したる後直に完全にローラーをかけて置けば、元ご少しも變らぬ路面上になる。此の修繕の容易さいふことが實に瀝青の特長である。今瀝青を鋪装したかと思ふと、直ぐ自動車を通しても少しも差支ない。これが混凝土鋪装になるご其の修繕がなかなか容易でない。一週間なり二週間なり經たなければ硬化しない。而も舊い混凝土と新しい混凝土とよく附着するかさうか問題である。だから亞米利加では市街道路には今はモウ混疑土道路は少しも無い、主に日本の國道に

當るやうな道路上に混凝土を使つて居る。さうして二三年経つて混凝土が悪くなつたら、其の上にシート・アスファルトをかけて居る、それで立派な路面になつて居る。

米國の瀝青鋪裝

瀝青混疑土鋪装に就ては、華盛頓の道路研究所で非常に澤山な金を使って、素晴らしい試験をやつて居る。それは圓形の大きな試験場を捨てて、それにいろいろに瀝青の混合法を變へた試験鋪装を何十種といふものを並べて、其の上を絶えずトラックをグル／＼運轉して試験をして居る。けれども未だ纏つてさういふ混合が一番良いといふやうな結果を得る迄に至つて居らなかつた。其の外側には混凝土鋪装に就て、やはりいろいろに配合を變へて、あらゆる硬度の石材を使つて鋪装をして、同じやうにトラックでグルグルやつて居る。此の混疑土の方に就てはスッカリ理論的の結果が出て居つたけれども、瀝青の方はまだ一向纏つた結果がなかつた。であるから瀝青混疑土といふものはなかなか

か理論や計算でぴつたり行くものではない、實驗でなければいかぬことを、私は其の時覺つた。

尙ほ一方では全米國の十幾つの都市から、瀝青道路の表面に波形が出來たとか、龜裂が入ったとかいふやうな、悪い所ばかりの試驗片を蒐めて、それを二硫化炭素で分解して、ビチユーメンの量からアグリゲートの配合から精密に調べたところが、其の結果は、良好であるべきものが實際は早く磨滅したり、波形が多かつたりして、どうも一向要領を得ないと言つて悲觀して居つた。先づ今の所では瀝青混凝土ではトピカ調合ぐらるが一番間違ひのない方法だ

こ思ふ。

シート・アスファルトに就ては別に疑問が無いやうであるが、唯々下層工を使はずに、混凝土の上に直ちに上層をか

けるこいふ事をやつて居る。それから又路線の非常に良い所では——殊に日本みたやうに砂利道ですつかり固まつた所では、基礎混凝土をやらずに、路面の表面を一時ぐらん剝ぎ取つて、其の上に四分か五分の碎石を敷いて十分ロードをかけて、其の上に直ぐ瀝青混凝土をやつたら良い路面が出来る。経費も非常に安い、亞米利加では住宅地附近で相當にやつて居つた。基礎の良い所であつたら斯ういふ工法をやつたならば、所謂簡易鋪装として最も良い方法だ

こ思ふ。

以上大體道路の鋪装こいふ事に就て、就中混凝土と瀝青に就いて概略述べた積りである。」（終り）